



桜が見頃を迎えていました<市役所南側広場にて>

令和3年度5会計予算を賛成多数で可決

3月定例会

3月定例会が、2月25日から3月22日までの26日間の会期で開かれました。この定例会では、令和2年度一般会計ほか2特別会計、下水道事業会計の補正予算、令和3年度5会計予算、令和3年度一般会計補正予算、綾瀬市特別会計条例の一部を改正する条例、協定の変更、市道路線の認定、綾瀬市教育委員会教育長の任命など、市長から提出された30議案を審議し、それぞれ可決、同意、承認しました。議員提出議案では、綾瀬市議会条例などの一部改正3件を可決、意見書2件を否決しました。(審議結果は8ページに掲載) また、陳情は2件を趣旨不了承と決しました。

袴田毅氏が新教育長に

施政方針 並びに新年度予算

市長は、令和3年度一般会計予算28億1千万円を柱に、5会計予算を提案しました。併せて新年度の施政方針演説を行い、「市民生活のさらなる充実に向け、5つの政策により感染症を含めた災害対策の充実や高齢者、子育て世帯に対する支援体制の強化、市内中小企業の経営力強化への支援、歴史文化などの観光資源や地域資源を生かした施策の展開と次世代へ魅力ある施設を引き継いでいくための公共施設の再編を進める。誰もが生涯を通じて、安心して生き生きと暮らせる、持続可能な「活力と魅力に満ちた綾瀬」をつくり上げてまいります。」と述べています。

主な施策は、道の駅の整備、綾瀬スマートインターチェンジ開通後の課題の把握、地域経済を活性化させる観光の創出、事業者の商品開発と販売促進の強化、生活困窮世帯の高校生に対する学習支援の拡充、待機児童の解消、にこにこ・しあわせ子育て商品券の支給、学習用ICT環境の整備、避難所のマンホールトイレの整備、公共施設再編の推

補正予算

令和2年度一般会計(第12号、第13号)、介護保険事業特別会計(第3号)、後期高齢者医療事業特別会計(第1号)の3会計総額で7億1902万8千円増額するもの、公共下水道事業会計(第2号)は、資本的収入を4億7586万円、資本的支出を4億9116万4千円増額するもの、3年度一般会計(第1号)は3億3699万6千円増額するもので、6議案をそれぞれ可決しました。

市道路線の認定

開発行為により帰属された道路の認定3件をそれぞれ可決しました。

人事案件

綾瀬市教育委員会教育長の任命について
袴田毅氏(海老名市)を任命することに同意しました。

人権擁護委員の候補者の推薦について
池田雄一氏(落合南)を法務大臣に再度推薦することに同意しました。

選挙管理委員の選挙
吉川重夫氏(大上)、鈴木美恵子氏(吉岡)、細川亀和子氏(寺尾南)、増田和夫氏(大上)に決まりました。

選挙管理委員補充員の選挙
中村和作氏(寺尾白)、網島政子氏(落合南)、佐藤博氏(早川)、鈴木政俊氏(上土棚南)に決まりました。

協定の変更

工事に関する細目協定の変更について(東名高速道路「(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ」新設事業の工事)

議員提出議案

綾瀬市議会条例の一部を改正する条例

専決処分の承認

令和2年度一般会計補正予算(第11号)として、新型コロナウイルス感染症の予防接種体制整備や外国人技能実習に係る防疫措置、小中学校の感染症対策に係る経費を計上したもので、承認しました。



常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の会議の記録の作成に係る押印の意義を踏まえ、見直しを図るため、所要の改正をするもので、可決しました。

綾瀬市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
政務活動費に係る収支報告書に押印を求めないこととするため、所要の改正をするもので、可決しました。

綾瀬市議会会議規則の一部を改正する規則
多様な人材の議会への参画を促進するため、議会の会談及び委員会の欠席事由を拡大等するとともに、請願書における押印の意義を踏まえ、見直しを図るため、所要の改正をするもので、可決しました。

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書
核兵器全面禁止のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加、調印、批准をすることを求めるもので、否決しました。

少人数学級の早期推進に関する意見書
少人数学級を早期に実現することを求めるもので、否決しました。